

令和5年 12月 4日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 重信 元子

一般質問通告書

下記のとおり質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【1】 带状疱疹の予防接種について

答弁を求める者 市長

1 新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症がまん延すると、免疫力の低下により、带状疱疹を発症する高齢者も増加するそうです。带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。

加齢、疲労、ストレスが発症の原因になることがあります。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症すると言われています。

带状疱疹の発症に対して、50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することができます。

以下、带状疱疹の予防接種について、市の見解をいくつかお尋ねいたします。

(1) 带状疱疹は、多くの方が子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内に潜伏していて、過労やストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して、带状疱疹を発症します。

つまり、誰にでも起こりうる病気とも言えますが、带状疱疹という病気に対して、どのような認識を持っておられますか、お聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



(2) 帯状疱疹の症状の多くは、上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。多くの場合、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、神経の損傷により、その後も痛みの続くことがあります「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれ、最も頻度の高い合併症です。また、帯状疱疹が現れる部位によって、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などの合併症を引き起こすことがあります。人によっては3か月くらい苦しむ事もあるそうです。

市民の健康を維持するために、予防という考え方を以前から推進してきたと認識しています。帯状疱疹について、お考えをお聞かせください。

(3) 50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することができます。帯状疱疹のワクチンには2種類あり、生ワクチンと不活性化ワクチンがあります。生ワクチンは、1回接種で約8000円、不活性化ワクチンは、2回接種で約4万円かかります。任意接種であり、高額な為、接種費用を助成してほしいという声をもらっています。

全国の自治体の中で、ワクチン接種費用の助成を行っているところが300以上あります。

当市のワクチン接種費用の助成について見解をお伺いいたします。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 地域コミュニティについて

答弁を求める者 市長

1 令和5年11月21日に、見附市議会改革調査特別委員会 意見交換分科会は、地域コミュニティ11地区のセンター長と意見交換会を実施して、コミュニティ事業の現状や、課題に感じている事、成果の上がっている事業などを、お聞きしました。これから、報告書にまとめますが、頂いたご意見を踏まえ、私の疑問に感じたことを質問させていただきます。今後の地域コミュニティのあり方について、以下お尋ねいたします。

(1) 敬老会の開催について

いくつかのコミュニティから、どうすればよいのかわからないとの声をお聞きしました。それは、令和6年から敬老会の開催費用が、大幅に削減される為に、今までの開催方法では対応できないと困っておられました。市の考える敬老会の在り方をお示してください。

(2) コミュニティワゴンの活用

見附市地域公共交通の1つとして位置付けされており、計画書の中にも「各地域の細やかな移動ニーズに対応します」と書かれています。しかし、規制も厳しくあり、降車場所が市役所なら良いが、スーパーはダメで、利用者のニーズに答えられていない現状があるそうです。

以前は、民業圧迫という理由も納得できましたが、タクシーの台数も少なくなっている状況です。社会情勢の変化に対応すべきと思いますが、見解をお聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

(3) コミュニティワゴンの運転手確保

イベントをする際は、バスを用意しないといけないが、運転手がない。また、冬季の中学生の通学にもコミュニティワゴンを利用し、喜んでもらっているが、運転手確保が課題であるとの意見がありました。運転手不足に対応する施策はありますか。お聞かせください。

(4) 今後の地域コミュニティの在り方

地域コミュニティ事業が始まって15年になります。11地域もありますので、規模も特徴も様々です。共通して言えるのは、市がコミュニティをととても頼りにしている事ではないでしょうか。担当であるまちづくり課はもとより、健康福祉課、こども課、建設課、などほとんどの課と関わりがあります。

しかし、コミュニティの核となる町内会も人口減少によって存続が厳しいところがあります。そんな中で、これからもコミュニティ事業を継続していく為には、資金と人材が不可欠です。

見附市の目指す地域コミュニティの姿は、どのようなものなのか、そのために、どういう所に力を入れていくつもりなのか、お考えをお聞かせください。